



2025年10月3日

各 位

(経過開示) 「AI Nyan 株式会社」 設立完了および
「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ」に関する進捗状況のお知らせ

当社は、2025年6月13日付「生成AI活用コンサルティング及びリスクリング研修事業に伴う「にゃんまる」ラーニングコミュニティ拡大プロジェクト開始のお知らせ」にて既報のとおり、AI・ブロックチェーン・暗号資産に関する次世代教育型コミュニティの構築に向けて準備を進めておりましたが、本件に関する中核事業会社として「AI Nyan 株式会社」を、以下のとおり設立し、登記が完了いたしましたのでお知らせいたします。あわせて、本プロジェクトの進捗状況および今後の展望についてもお知らせいたします。

1. 新設立会社の概要

会社名	AI Nyan 株式会社 (エーアイニャン株式会社)
所在地	東京都港区南青山二丁目2番15号
代表者	代表取締役 小川 孝史
設立日	2025年7月7日 (登記完了日)
出資関係	abc 株式会社 100%子会社
事業内容	ラーニングコミュニティの企画・運営、ブロックチェーン及び暗号資産を活用した教育プロダクトの開発 等
URL	https://www.ai-nyan.com/

2. プロジェクト概要 (GYAN BLUE ラーニングコミュニティ)

「GYAN BLUE ラーニングコミュニティ」は、AI・ブロックチェーン・暗号資産といった先端領域における体系的な学びを提供するとともに、コミュニティ自体をDAO型で運営していくことを目的としています。

参加者は、POAPによる参加頻度の可視化や、NFTを通じた習熟度の反映などを通じて、学びの進捗を「見える化」しながら、コミュニティエコシステムに参加します。これにより「Learn to Earn」の仕組みを取り入れた新しい学習・貢献モデルを構築します。

また、コミュニティの貢献度や習熟度に応じて、運営やサポート業務の一部を委ねる DAO 的な体制を想定しており、参加者が主体的に関わりながら持続的に成長する仕組みを設計しています。

今回のコミュニティ発足は、DAO 運営の概念実証 (POC) としても位置づけられており、権限付与や NFT 発行、フィードバックの循環が適切に機能する閾値を検証することを目的としています。



3. 現在の開発状況

コンテンツ開発	AI、ブロックチェーン、ミーム経済、暗号資産基礎等のモジュール設計について、現在開発進捗 20%。年内完成予定。
システム構築	ダッシュボード・ウォレット連携・トークン配布機能の開発を進行中。2025 年 12 月中の完成および公開を予定。
スマートコントラクト	セキュリティ監査の準備段階。
本番公開予定	年内 (2025 年 12 月) の一般公開を目指しています

4. 今後の展望

本プロジェクトは、「教育」と「資産形成」を融合した新しい形の社会インフラ構築を志向しており、今後、以下の展開を視野に入れております。

(1) 機能拡張とトークンエコノミクスの最適化

- 学習者の貢献度を数値化するスコア制度 (仮称：にゃん検定) の導入
- トークンの価値維持を目的とした、供給制限や長期保有インセンティブ設計の見直し
- 将来的には、学習履歴やスコアがオンチェーン証明として活用されるよう、Web3 人材 ID との連携も視野に入れております

(2) DAO 型コミュニティへの発展

- 初期フェーズでは中央集権型の運営体制としますが、将来的には、学習者自身がルール設計や運営に関与する分散型コミュニティ（DAO）モデルへの段階的移行を目指します。

(3) 他業種・教育機関との連携

- 大学・専門学校・企業研修機関などとの提携により、Web3 教育コンテンツの導入を推進
- スポーツ、アート、地域振興など他分野と連携し、NFT/トークンと連動した実社会連携型ラーニングモデルを構築

(4) グローバル展開

- 東南アジアおよび新興国市場における暗号資産リテラシー向上と教育機会の提供に資するプロダクト展開を検討しております。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。
「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。
チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。
だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。
HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。
食事と、衣服と、住居と、週末と。
しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。
そして、チケット自体の価値も変わる。
硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。
交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違いと決定されている。
暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。
世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。
価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。
昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。
だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、
貝殻でしか、交換ができないのだろうか？
私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。
abcは、いま、そこから生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。
人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上